

今月からオリンピックが始まりますね。今回はオリンピックが開催されるイギリスの歴史小説をご紹介します。

『アルフレッド王の戦い』

C.W.ホッジス／作 神宮 輝夫／訳 岩波書店 1971年 2520円 歴史小説

<お勧め年齢>

幼稚園☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年★★★★ 中学生★★★★  
高校★★☆ 一般★★☆ (★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

今度オリンピックが開催されるイギリスも最初から今のような姿ではありませんでした。日本と同じようにたくさんの国があり、戦いが繰り返され、たくさんの心躍る英雄物語が語り継がれています。

この本の主人公はそんな英雄の一人、ウェシクスの王アルフレッドです。アルフレッド王が紀元800年代に海から攻めてきたバイキングたちに知略を駆使して立ち向かう様子を、王と同名の片足の書記、デインの足のアルフレッドの目を通して描きます。

<子どもに手渡すときのポイント>

イギリスはとても複雑な歴史を持っており、だからこそ魅力的な物語がたくさんある国です。この本は1964年に原書が出版された古い本ですが、時代を超えても全く色あせない魅力をもった歴史小説です。日本では1970年代に邦訳され一時期入手不可でしたが、2009年に復刊されました。イギリスの歴史に馴染みのない子には、訳者あとがきに歴史的背景が簡単に紹介してあるので、そこから読み始めることを薦めてみたほうがいいかもしれません。また、この本が気に入った子にはぜひ続編の『アルフレッド王の勝利』を手渡してあげてください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。

